



六環協ニュース 第5号

六甲山環境整備協議会 2007年4月1日発行

【4月の活動予定】

4月12日(木)から生態調査に着手します。

第2年度環境整備計画の一環として、近畿自然歩道沿いの雑木林にある「2つ池」(仮称)周辺を主な対象に、水生生物の生態調査に着手します。県立人と自然の博物館の三橋弘宗先生に、生態調査のご指導をお願いしました。生態調査の手ほどきを受けて、継続的な観察・調査を構想する予定です。

ご関心のある方は、4月12日(木)13:30に自然保護センターのレクチャールームにお集まりください。

特に用具は必要ありませんが、湿地帯に入りますので長靴をご用意ください。



「2つ池」の下部地域

4月21日(土)は、第2期の環境整備活動です。こぞってご参加ください。

10~12時に、第2年度環境整備計画の第1回の整備作業を実施します。記念碑台下の近畿自然歩道の入り口に覆い被さる枯れ枝の整備などを行います。近畿自然歩道沿いに出現した早春の植物を観察・調査することも課題です。

参加ご希望の方は10時に、六甲山自然保護センターのレクチャールームに集合してください。作業用の道具類は用意していますので、初心者の方や一般市民の方も歓迎します。

詳細は事務局にお問い合わせください。

※なお、当日の午後1時から第49回六甲山魅力再発見市民セミナー「都市山六甲山」(講師:服部保さん)も開催しますので、引き続いてご参加ください。

【3月の活動報告】

近畿自然歩道入り口の枯れ枝を整備

3月17日に「六甲山YMCA」に集合した10名のメンバーは、車に分乗して記念碑台に移動しました。第1期環境整備計画の仕上げとして、近畿自然歩道入り口に覆い被さっているツルや枯れ枝の整備を行いました。高枝切りノコギリを使い、電線にからんだツルを慎重に除去しました。皆さん、体力を使って作業に没頭しました。

これまで、うっそうとして暗く不安感を与えていましたが、ようやく青空が見える明るい景観を取り戻すことができました。



近畿自然歩道入り口の整備



ツルや枯れ枝の整理



ボランティアのメンバー

近畿自然歩道沿いに投棄された荒ゴミも撤去

2月の整備作業で近畿自然歩道沿いの斜面に投棄された荒ゴミを発見しました。3月17日は、ゴミ捨てを防止するために荒ゴミの撤去にも取り組みました。

ササの繁茂した斜面に安全ロープを垂らして、投棄された様々な家庭ゴミに啞然としながら、回収を行いました。電子レンジ、トースター、電気プレートがありました。ラックや包丁、大きな靴、衣料の類、段ボールなど。全体で2立方メートル、約20キログラムくらいにもなりました。



斜面でのゴミ回収



投棄された大量の荒ゴミ

【これからの活動計画】

平成19年度は第2年度環境整備計画を実施

平成18年度は「六甲山環境整備協議会」を設立して、公益法人自然保護ボランティアファンドの助成金を軸にして、近畿自然歩道沿いの環境整備活動を推進しました。

報告のとりまとめをする予定ですが、自然環境の保全と整備をする市民団体・研究機関・行政機関の連携を図れたことが大きな成果です。また、地権者である阪神電鉄系の2社に協力団体として加わっていただきました。

第1期環境整備計画としては、斜面のササ刈りで出現した植生の観察・調査や、繁茂したアセビの枝切り、山道の補修などを行い、安全で快適な散策路へと整備できました。

平成19年度の第2年度環境整備計画では、これまでの活動を継続することに加えて、対象地域についての環境調査に着手するのを大きな特徴としています。

近畿自然歩道に隣接する雑木林を実測調査して、地形図を作成する予定です。そして現有の植生を調査して植生図も作成します。これらによって、対象地域の実態を具体的に把握することに務めます。

そして、これまで実施されていなかった水生動物の生態調査にも着手し、継続的に観察・調査をしていきます。これらの調査活動には、六甲山小学校や子どもパークレンジャーの参加や一般市民の参加も求めています。多くの人たちが六甲山上の自然環境の保全と整備に関わっていただきたいと願っています。

(文責:堂馬英二)

発行:六甲山環境整備協議会・事務局(六甲山自然保護センターを活用する会)
〒657-0028 神戸市灘区森後町 2-1-3 ワークスタイル研究所内 TEL:078-856-4756/FAX:078-856-6616
E-mail:info@rokkosan-katsuyo.com http://www.rokkosan-katsuyo.com/

※この活動には公益法人自然保護ボランティアファンドの助成金が交付されています